令和3年度　高等部修学旅行

11 月 1 日(月)～11 月 2 日(火)、高等部２・３年生６名は、那智勝浦町・太地町・白浜町への修学旅行に行きました。

大型リフトバスでまず立ち寄ったのは串本の橋杭岩。高３組の生徒はバス内のマイクを使って「橋杭岩や那智の滝の成り立ち」が 1400 万年前の熊野地域の火山活動に由来することを説明しました。橋杭岩の前では生徒全員で集合写真を撮りました。

一日目の昼食は、宿舎のホテルでおしゃれなランチをいただきました。

次に向かったのは、那智の滝と青岸渡寺。世界遺産であり、日本一の落差を誇る那智の滝には、階段を使わずにいけるコースがあり、熊野古道のように苔むした道をたどって滝の真下に到着しました。滝のしぶきや木々から発せられるマイナスイオンにはとても癒やされました。

一日目最後の見学先は、太地くじら博物館。期間限定プログラムを予約していたので、屋外の入り江で行われる小型のクジラのショーを見学しました。開放的な雰囲気の中、ゆっくり楽しむことができました。館内には巨大なクジラの骨が天井一杯に飾られ、その大きさに注目する生徒もいました。

宿舎のホテルはくじら博物館のすぐ隣。全員徒歩で向かいました。夕食をしっかりいただいた後は、入浴をすませ、翌日に備えて睡眠タイム。どの生徒も各自の部屋で落ち着いて過ごすことができました。

二日目は太地町から白浜のアドベンチャーワールドに向かいました。

園内のあちらこちらにパンダの施設があり、良浜・楓浜の母子パンダのほほえましい姿やお父さんパンダの永明が竹をほおばる姿等を間近に見ることができました。

昼食後は小グループに分かれての行動。ウオーキングサファリを楽しんだグループ、イルカショーやアニマルアトラクションを見学したグループなど、各グループが存分に館内を巡ることができました。最後に家族や友達へのお土産のショッピングも楽しみました。

この二日間の旅行は和歌山県の魅力を再発見することができ、全員、素敵な思い出をつくることができました